

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年7月13日
【四半期会計期間】	第32期第1四半期（自 2020年3月1日 至 2020年5月31日）
【会社名】	株式会社アズ企画設計
【英訳名】	Azplanning Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松本 俊人
【本店の所在の場所】	埼玉県川口市戸塚二丁目12番20号
【電話番号】	048（298）1720（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 小尾 誠
【最寄りの連絡場所】	埼玉県川口市戸塚二丁目12番20号
【電話番号】	048（298）1720（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 小尾 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第31期 第1四半期累計期間	第32期 第1四半期累計期間	第31期
会計期間	自2019年3月1日 至2019年5月31日	自2020年3月1日 至2020年5月31日	自2019年3月1日 至2020年2月29日
売上高 (千円)	1,394,359	1,245,074	5,509,480
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	88,887	95,459	48,731
四半期純損失 ( ) 又は当期純利益 (千円)	89,890	68,024	13,222
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	170,608	170,608	170,608
発行済株式総数 (株)	951,000	951,000	951,000
純資産額 (千円)	1,393,522	1,428,607	1,496,652
総資産額 (千円)	6,394,454	7,512,451	6,781,679
1株当たり四半期純損失金額 ( ) 又は1株当たり当期純利益金額 (円)	94.53	71.53	13.90
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期) 純利益金額 (円)	-	-	13.73
1株当たり配当額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	21.8	19.0	22.1

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。

4. 第31期第1四半期累計期間及び第32期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大に伴い、国内外で社会・経済活動が制限される事態となり、急速かつ大幅に悪化し極めて厳しい状況にあります。

当社の属する不動産業界におきましても、一昨年より続いている個人向け不動産融資に対する金融機関の慎重姿勢は継続しており、重ねて前述の新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの投資家にとっても、投資に対する慎重姿勢を誘引しております。

このような状況の下、当社は厳しい外部環境の中で、本年開設した横浜営業所や不動産売買仲介といった営業活動の拡大を図っております。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績として、売上高は1,245,074千円（前年同期比10.7%減）、営業損失は85,362千円（前年同四半期は営業損失74,369千円）、経常損失は95,459千円（前年同四半期は経常損失88,887千円）、四半期純損失は68,024千円（前年同四半期は四半期純損失89,890千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (不動産販売事業)

不動産販売事業におきましては、主に中古物件を購入しリノベーションやリーシング（賃貸募集業務）を行い、付加価値を高めたうえで不動産投資家への販売を手掛けてまいりました。当第1四半期累計期間は、レジデンス1棟、区分店舗1件を売却いたしました。その結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,032,897千円（前年同期比12.4%減）、セグメント利益は5,095千円（前年同四半期はセグメント損失35,400千円）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、従来より安定的に収益を上げている貸しコンテナ、コインパーキング、事業用・居住用サブリース、東北での復興事業者向け宿泊施設としてのビジネスホテルの運営に加え、不動産販売事業において取得した販売用不動産賃料収入等の獲得にも努めてまいりました。その結果、当第1四半期累計期間における売上高は172,472千円（前年同期比5.1%減）、セグメント損失は34,928千円（前年同四半期はセグメント利益19,149千円）となりました。

#### (不動産管理事業)

不動産管理事業におきましては、既存顧客に対する管理サービスの向上に努めるとともに、安定収入を増やすべく、新たに販売した不動産の管理受託にも取り組んでまいりました。その結果、当第1四半期累計期間における売上高は39,703千円（前年同期比17.2%増）、セグメント利益は9,238千円（同11.8%減）となりました。

#### (2) 財政状態の状況

##### (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は6,185,739千円となり、前事業年度末に比べ708,256千円増加いたしました。これは主に、販売用不動産が985,450千円増加したものの、現金及び預金が218,804千円減少したことによるものであります。固定資産は1,326,712千円となり、前事業年度末に比べ22,515千円増加いたしました。これは主に、繰延税金資産が29,122千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、7,512,451千円となり、前事業年度末に比べ730,772千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は1,640,843千円となり、前事業年度末に比べ373,141千円増加いたしました。これは主に、短期借入金が437,672千円増加したことによるものであります。固定負債は4,443,001千円となり、前事業年度末に比べ425,676千円増加いたしました。これは主に、長期借入金が536,914千円増加したものの、社債が84,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、6,083,844千円となり、前事業年度末に比べ798,817千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,428,607千円となり、前事業年度末に比べ68,045千円減少いたしました。これは主に、四半期純損失を68,024千円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は19.0%（前事業年度末は22.1%）となりました。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期累計期間において、当社の経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,200,000
計	3,200,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年5月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年7月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	951,000	951,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株 あります。
計	951,000	951,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年3月1日～ 2020年5月31日	-	951,000	-	170,608	-	150,608

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年2月29日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 950,500	9,505	-
単元未満株式	普通株式 500	-	-
発行済株式総数	951,000	-	-
総株主の議決権	-	9,505	-

【自己株式等】

2020年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アズ企画設計	埼玉県川口市戸塚二丁目12番20号	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第1四半期累計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,161,939	1,943,135
売掛金	31,125	38,445
販売用不動産	3,035,653	4,021,104
仕掛品	90	95
貯蔵品	1,231	2,042
その他	251,035	184,667
貸倒引当金	3,593	3,750
流動資産合計	5,477,482	6,185,739
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	1,370,288	1,372,743
減価償却累計額	248,153	262,982
建物(純額)	1,122,134	1,109,760
その他	124,104	125,504
減価償却累計額	65,884	68,716
その他(純額)	58,220	56,788
有形固定資産合計	1,180,354	1,166,549
無形固定資産	5,809	5,774
<b>投資その他の資産</b>		
その他	118,032	154,388
投資その他の資産合計	118,032	154,388
固定資産合計	1,304,196	1,326,712
資産合計	6,781,679	7,512,451

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2020年5月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	42,271	13,338
短期借入金	299,288	736,960
1年内返済予定の長期借入金	474,010	401,031
未払法人税等	2,358	2,999
賞与引当金	16,741	33,482
株主優待引当金	2,971	1,222
その他	430,060	451,808
流動負債合計	1,267,701	1,640,843
<b>固定負債</b>		
社債	524,500	440,500
長期借入金	3,338,290	3,875,204
資産除去債務	55,881	55,964
その他	98,653	71,332
固定負債合計	4,017,324	4,443,001
負債合計	5,285,026	6,083,844
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	170,608	170,608
資本剰余金	329,328	329,328
利益剰余金	996,520	928,496
自己株式	207	207
株主資本合計	1,496,251	1,428,227
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	401	380
評価・換算差額等合計	401	380
純資産合計	1,496,652	1,428,607
負債純資産合計	6,781,679	7,512,451

## ( 2 ) 【四半期損益計算書】

## 【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上高	1,394,359	1,245,074
売上原価	1,273,518	1,143,602
売上総利益	120,840	101,471
販売費及び一般管理費	195,210	186,834
営業損失( )	74,369	85,362
営業外収益		
受取利息	10	1
受取配当金	24	30
受取手数料	334	373
補助金収入	-	430
その他	1,726	824
営業外収益合計	2,096	1,661
営業外費用		
支払利息	9,938	9,680
社債利息	1,127	993
社債発行費	4,463	-
その他	1,085	1,084
営業外費用合計	16,614	11,758
経常損失( )	88,887	95,459
税引前四半期純損失( )	88,887	95,459
法人税、住民税及び事業税	449	1,677
法人税等調整額	552	29,112
法人税等合計	1,002	27,435
四半期純損失( )	89,890	68,024

【注記事項】

(追加情報)

当社では、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計等の会計上の見積りにおいて、四半期財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき、新型コロナウイルス感染症による売上等への影響が2020年9月以降緩やかに回復するものと仮定しております。

なお、前期末の仮定について重要な変更を行っておりません。

(四半期貸借対照表関係)

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2020年5月31日)
当座貸越極度額	- 千円	200,000千円
借入実行残高	-	73,700
差引額	-	126,300

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
減価償却費	17,857千円	17,695千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	不動産販売事 業	不動産賃貸事 業	不動産管理事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,178,799	181,691	33,868	1,394,359	-	1,394,359
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,178,799	181,691	33,868	1,394,359	-	1,394,359
セグメント利益又は損失( )	35,400	19,149	10,469	5,781	68,588	74,369

(注)1. セグメント利益の調整額 68,588千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	不動産販売事 業	不動産賃貸事 業	不動産管理事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,032,897	172,472	39,703	1,245,074	-	1,245,074
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,032,897	172,472	39,703	1,245,074	-	1,245,074
セグメント利益又は損失( )	5,095	34,928	9,238	20,594	64,768	85,362

(注)1. セグメント利益の調整額 64,768千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり四半期純損失金額( )	94円53銭	71円53銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額( )(千円)	89,890	68,024
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額( )(千円)	89,890	68,024
普通株式の期中平均株式数(株)	950,955	950,933
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月13日

株式会社アズ企画設計

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 飯塚 正貴 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小野寺 勝 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アズ企画設計の2020年3月1日から2021年2月28日までの第32期事業年度の第1四半期会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第1四半期累計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アズ企画設計の2020年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。